

公共図書館における障害者サービスに関する調査研究 質問紙調査

本質問紙は国内の全公共図書館（市町村立図書館の場合、中央館のみ）に送付しております。各市町村におかれましては、自治体内の分館等のサービスの実態も踏まえてのご回答をお願いします。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した集計結果を調査報告書に取りまとめるとともに、国立国会図書館ホームページで公開します。

※障害者サービスを実施していない図書館にもご回答いただきたい設問がありますので、よろしくお願いたします。

記入の手引き

- 2016年度の状況についてご記入ください。（所蔵数は2017年3月末時点）
- 市町村立図書館で、中央館・分館のうち特定の館のみが該当する場合も、該当するとみなします。また、数値については、市町村内の中央館・分館の各館の数値の合計値としてください。
- 回答として「その他」を選択した場合、具体的内容を記入してください。

【重要】本調査の回答の公開に係る許諾について（依頼）

障害者サービスの取組事例に関する情報共有のため、ご承諾を得られた場合は、ご回答内容を館名とともにウェブサイトに掲載したいと考えております。館名とともに貴館の回答を国立国会図書館ホームページで公開することについてご許諾いただきますようお願い申し上げます。以下の回答欄にご記入ください。

（回答欄）

当館は、館名とともに回答を国立国会図書館ホームページ上で公開することを

- 1 許諾する。 ()
- 2 許諾しない。 ()

※ いずれかに○をつけてください。

図書館名			
記入者氏名			
記入者所属			
電話番号		FAX 番号	
連絡先電子メール			

問合せ先 国立国会図書館関西館図書館協力課調査情報係
〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3
電話：0774-98-1449 E-mail: chojo@ndl.go.jp

回答期限 2017年10月13日（金）

- 3 DAISY 再生機 ()
- 4 点字ピンディスプレイ ()
- 5 読み上げソフトがインストールされたパソコン ()
- 6 音声読書機 ()
- 7 点訳ソフト ()
- 8 点字プリンター ()
- 9 CD コピー機 ()
- 10 デジタル録音機 ()
- 11 音声 DAISY 編集ソフト ()
- 12 マルチメディア DAISY 編集ソフト ()
- 13 その他 ()

B 個人へのサービスの実施と利用者

問 5 貴館において障害者サービスの利用者がある場合は、障害別に当てはまるもの全てに○をつけてください。また、1 から 7 については、貴館が把握されている範囲で結構ですので、利用者登録の有無にかかわらず利用者のおおよその人数をご記入ください。「その他」の場合は、障害の内容をわかる範囲でご記入ください。下記と異なる区分で統計を取っている場合は、「その他」に記入してください。また、例えば視覚と聴覚の両方に障害があるなど、1 人の利用者が複数の選択肢に該当する場合は、それぞれに計上してください。

※この間の回答については、館名とともに回答の公開についてご承諾いただいた場合でも、統計的に処理し、公表は行いません。

- 1 視覚障害者 () [人]
- 2 聴覚障害者 () [人]
- 3 肢体不自由者 () [人]
- 4 内部障害者 () [人]
- 5 知的障害者 () [人]
- 6 精神障害者 () [人]
- 7 発達障害者 () [人]
- 8 入院患者 ()
- 9 施設入所者 ()
- 10 在宅療養者 ()
- 11 被収容者 (注) ()
- 12 その他 ()

(注)「被収容者」とは、刑務所、少年刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所及び婦人補導院に収容されている者

問 6 障害者サービスを行うにあたり、一般のサービスの利用者登録とは別の利用者登録を行っていますか。次のうち、当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 行っている ()
- 2 行っていない ()

問 7 行っている場合は障害者サービスの登録利用者数をご記入ください。

() 人

問 8 来館が困難な方のために図書館で送迎を行っていますか。次のうち、当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 行っている ()
- 2 行っていない ()

C 対面朗読

問 9 対面朗読を実施していますか。当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 実施している ()
- 2 実施していない ()

問 10 対面朗読の利用対象者について、次のうち、当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 視覚障害者で障害者手帳所持者に限定している ()
- 2 視覚障害者に限定しているが、障害者手帳の所持は問わない ()
- 3 視覚障害者だけではなく、活字による読書に困難のある人を対象としている ()

問 11 2016 年度に対面朗読を利用した方は何人ですか。延べ人数ではなく、実利用者数をご回答ください。概数の場合は、「約」をつけた数値をご記入ください。

() 人

問 12 2016 年度の対面朗読の利用実績を総利用時間でご記入ください。概数の場合は、「約」をつけた数値をご記入ください。

() 時間

問 13 対面朗読は誰が行っていますか。次のうち、当てはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 職員 ()
- 2 図書館協力者(注) ()
- 3 ボランティア ()
- 4 その他 ()

(注)「図書館協力者」とは図書館に登録した活動に応じた何らかの対価が支払われている人(この調査では交通費のみの支払いも含む。)

問 14 対面朗読の利用時間・回数に制限がありますか。次のうち、当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 制限はある ()
- 2 制限はない ()

問 15 対面朗読では、どのような資料を対象としていますか。次のうち、当てはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 図書館資料（相互貸借を含む。）（ ）
- 2 利用者の持参資料（図書館資料になりうるもの）（ ）
- 3 利用者の持参資料（取扱説明書・パンフレットなど）（ ）
- 4 利用者の私的な文書（手紙など）（ ）
- 5 その他（ ）

D 個人貸出

問 16 次の資料の個人貸出を実施していますか（他の図書館から借り受けた資料を含みます。）。それぞれについて、実施している場合は当てはまるもの全てに○をつけてください。

実施している場合は、2016年度の貸出数をタイトル数でご記入ください。タイトル数が不明で巻点数が分かる場合は、巻点数をご記入ください（タイトル数が分かる場合は巻点数は不要です）。実績数が不明の時は「不明」を、概数がわかる時は「約」をつけた数値をご記入ください。

また、実績がなくてもサービス体制がある場合は、「実施の有無」には○を、貸出数の「タイトル数」には「0」をご記入ください。

資料種別	実施の有無	個人貸出の貸出数	
		タイトル数 (注1)	巻点数 (注1)
1 障害者向け録音資料（カセット・テープ）			
2 障害者向け録音資料（音声 DAISY）			
3 音声 DAISY 以外の朗読 CD			
4 点字資料（冊子体）			
5 点字資料（データ）			
6 点字絵本（注2）			
7 マルチメディア DAISY			
8 テキスト DAISY			
9 プレーンテキスト			
10 大活字本			
11 拡大写本			
12 さわる絵本・布の絵本			
13 その他のバリアフリー絵本			
14 LLブック			
15 障害者用字幕・手話入り DVD・ビデオ（注3）			
16 その他（※）			

※「その他」について

（ ）

(注1) 「タイトル数」とは、原本となる書籍等の数。「巻点数」とは障害者用資料の数

※例えば、1冊の本がカセットテープ5巻となった場合、「タイトル数」は1、「巻点数」は5となる。

※逐次刊行物の場合、「タイトル数」は、2016年4月号と5月号を貸し出した場合は2というように、号数で数える。

(注2) 点字絵本には、活字の絵本に点字シールをつけたものや市販の点字つき絵本を含む。

(注3) 「障害者用字幕・手話入り DVD・ビデオ」とは、聴覚障害者情報提供施設が制作したもので、特に障害者用にガイドや手話をつけたものをいい、一般の字幕付洋画ビデオは含まない。

問 17 次の資料の郵送貸出（注1）や宅配（注2）を実施していますか（通常のカウンターでの貸出は含みません。）。それぞれについて、実施している場合は当てはまるもの全てに○をつけてく

ださい。

実施している場合は、郵送貸出・宅配の貸出数を、タイトル数でご記入ください。タイトル数が不明で巻点数が分かる場合は、巻点数をご記入ください（タイトル数が分かる場合は巻点数は不要です）。実績数が不明の時は「不明」を、概数がわかる時は「約」をつけた数値をご記入ください。

また、実績がなくてもサービス体制がある場合は、「実施の有無」には○を、貸出数の「タイトル数」には「0」をご記入ください。

資料種別	郵送貸出			宅配		
	実施の有無	タイトル数 (注3)	巻点数 (注3)	実施の有無	タイトル数 (注3)	巻点数 (注3)
1 一般図書資料や大活字 図書などの冊子体資料						
2 録音資料（テープ・音声 DAISY）						
3 点字資料						
4 市販テープ・CD						
5 市販ビデオテープ・DVD						
6 その他（※）						

※「その他」について

（ ）

（注1）「郵送貸出」には、宅配業者による配送も含む。

（注2）「宅配」とは、利用者の自宅等に職員が資料を持っていくサービスのことを指す。

（注3）は問16の（注1）と同じ。

問18 郵送や宅配で経費がかかるような場合、その費用は誰が負担していますか。次のうち、当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 往復とも図書館が料金を負担している（ ）
- 2 片道分の料金を図書館が負担している（ ）
- 3 往復とも利用者が料金を負担している（ ）
- 4 経費がかかる場合は、実施していない（ ）

問19 サピエ図書館または国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスを利用して、データをダウンロードして利用者に提供していますか。次のうち、当てはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 サピエ図書館からデータをダウンロードして利用者に提供している（注）（ ）
- 2 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスからデータをダウンロードして利用者に提供している（ ）

（注）システム連携により国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスがサピエ図書館を通じて提供しているデータのダウンロードも含む。

問20 特定録音物等郵便物を発受することができる施設として日本郵便より指定を受けていますか。次のうち、当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 指定を受けている ()
 2 指定を受けていない ()

問 21 心身障害者用ゆうメールや聴覚障害者用ゆうパックを利用していますか。次のうち、利用しているもの全てに○をつけてください。

- 1 心身障害者用ゆうメール ()
 2 聴覚障害者用ゆうパック ()

E 蔵書・資料製作

問 22 障害者向けの資料の所蔵・製作の状況についてお聞きします。次の資料のそれぞれについて、所蔵・製作の数をタイトル数で記入してください。雑誌・新聞は、「タイトル数」「種数」の両方を記入してください。タイトル数・種数が不明で、巻点数のみ分かる場合は、巻点数をご記入ください（タイトル数・種数が分かる場合は巻点数は不要です。）。実績数が不明の時は「不明」を、概数がわかる時は「約」をつけた数値をご記入ください。

資料種別	全所蔵		全所蔵のうち自館製作	
	タイトル数 (注 1)	巻点数 (注 1)	タイトル数 (注 1)	巻点数 (注 1)
1 障害者向けの録音資料（カセット・テープ）				
2 障害者向けの録音資料（音声 DAISY）				
3 録音資料(DAISY 以外の CD)				
4 点字資料（冊子体）				
5 点字資料（データ）				
6 点字絵本（注 2）				
7 マルチメディア DAISY				
8 テキスト DAISY				
9 プレーンテキスト				
10 大活字本				
11 拡大写本				
12 さわる絵本・布の絵本				
13 その他のバリアフリー絵本				
14 LL ブック				
15 障害者用字幕・手話入り DVD・ビデオ（注 3）				
16 バリアフリーDVD（注 4）				
17 その他（※）				

※「その他」について

()

(注 1) (注 2) (注 3) は、問 16 の (注 1) (注 2) (注 3) と同じ。

(注 4) 「バリアフリーDVD」とは、市販されている DVD で、聴覚障害者向けの日本語字幕・手話映像や視覚障害者向けの音声ガイドが付いているものを指す。

問 23 資料製作を行っている館にお尋ねします。製作は誰が行っていますか。それぞれの資料について、当てはまるもの全てに○をつけてください。

	職員	図書館協力者 (注 1)	個人ボランティア	ボランティアグループ	業者委託 (注 2)	その他 (※)
1 音訳						
2 DAISY の編集						
3 点訳						
4 字幕・手話つきビデオ製作						
5 テキストデータ化						
6 拡大写本製作						
7 さわる絵本・布の絵本製作						
8 その他 (※)						

※「その他」について

()

(注 1)「図書館協力者」とは、図書館に個人登録した活動に応じた何らかの対価が支払われている人(この調査では交通費のみの支払いも含む。)

(注 2)「業者委託」とは、資料製作の作業について委託契約を結んでいる場合の委託を指す。

※例えばカウンター業務委託や指定管理者制度等の一部として委託されている場合のサービス従事者は、「職員」とする。

問 24 蔵書にしない資料製作(利用者の要望に応じた資料の一部の複製など)を行っていますか。次のうち、当てはまるもの全てに○をつけてください。

- 1 音訳 ()
- 2 点訳 ()
- 3 資料の拡大 ()
- 4 テキストデータの製作 ()
- 5 その他 ()

F 病院・施設・学校へのサービスの実施と利用状況

問 25 貴館では、次の施設等を対象とした個人貸出サービスを実施していますか。実施している場合は当てはまるもの全てに○をつけてください。実施している場合は、施設種別ごとに貸出方法についてご記入ください。貸出方法は下の A から E を選んで、その記号を表にご記入ください(複数ある場合は複数ご記入ください)。

<貸出方法>

- A. 図書館職員やボランティアが施設内を巡回
- B. 図書館職員やボランティアが施設内の一定の場所で貸出
- C. 施設に自動車図書館のステーションを設置
- D. 個人に郵送貸出(宅配便も含む。)
- E. その他(具体的にご記入ください。)

()
施設種別番号 ()

()

(注1) (注2) は問25の(注1) (注2)と同じ。

G 職員体制 (委託・指定管理先の職員も含みます。)

問28 貴館で障害者サービスを担当する職員(注)の人数をご記入ください(2017年3月31日現在)。数値については、市町村内の中央館・分館の各館の数値の合計値としてください。

()人

(注)職員には、非常勤職員や臨時職員なども含む。図書館協力者やボランティアは含まない。

問29 貴館には、点字・手話のできる職員(注)がいますか。いる場合は、それぞれ人数をご記入ください(2017年3月31日現在)。

1 点字 ()人

2 手話 ()人

(注)点字は、基礎的な規則を理解し、利用者と短い手紙をやりとりできる程度とする。手話は、カウンターでの簡単な接遇ができる程度とする。職員には非常勤職員や臨時職員なども含む。図書館協力者やボランティアは含まない。

問30 貴館に障害のある職員がいますか。いる場合は、人数をご記入ください(2017年3月31日現在)。従事している業務は問いません。重複障害のある職員は内訳ではそれぞれに計上し、総数は実数としてください。「その他」の場合、障害の具体的内容と人数をご記入ください。

※この問の回答については、館名とともに回答の公開についてご承諾いただいた場合でも、統計的に処理し、公表は行いません。

障害のある職員の総数 ()人

<内訳>

1 視覚障害者 ()人

2 聴覚障害者 ()人

3 肢体不自由者 ()人

4 内部障害者 ()人

5 知的障害者 ()人

6 その他 ()

H 広報・イベント

問31 障害者サービス関連の催しや利用者向け研修を実施していますか。次のうち、当てはまるもの全てに○をつけてください。

1 ICT機器やDAISY再生機器操作のための利用者向け研修 ()

2 手話によるおはなし会 ()

- 3 バリアフリー映画会 ()
- 4 障害者用資料の展示会 ()
- 5 障害サービスなどに関するセミナー ()
- 6 その他 ()

問 32 障害者サービス関連で作成しているものがありますか。次のうち、当てはまるもの全てに○をつけてください。

	大活字版	リライト版(注1)	音声版(注2)	点字版
1 利用案内(一般)				
2 利用案内(障害者サービス)				
3 障害者サービス用資料の目録				
4 図書館報				
5 その他(※)				

※「その他」について

()

(注1) リライト版とは、写真や絵を多用し、漢字等にはふりがなを振り、平易な文章で書くなど、知的障害、自閉症、読書障害、聴覚障害のある人、外国から日本に移り住んだ人でまだ日本語に慣れていない人でも理解できるよう工夫されたもの

(注2) 音声版はテープ版、DAISY版を含む。

I 障害者差別解消法に関する取り組み

問 33 障害者差別解消法の施行を受けて新たなサービス等を実施又は検討していますか。次のうち、当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 以前から幅広い利用者へのサービスを提供している ()
- 2 障害者差別解消法の施行を受けて、新しいサービス・利用者の拡大などを行った ()
具体的に ()
- 3 検討している ()
- 4 検討していない ()

問 34 障害者差別解消法の施行を受けて、障害者サービスに関する職員研修会を実施しましたか。次のうち、当てはまるものいずれかに○をつけてください。

- 1 実施した又は実施予定である ()
- 2 実施していない ()

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。